

Uフレームスケール

ニューダービー

取扱説明書

株式会社 守 隨 本 店

このたびは、U フレームスケール “ニューダービー” をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この秤の構造は極めてシンプルで、携帯型とも言える計量を実践しており、必要な時、必要な場所で自由に計量ができます。

高精度圧縮型ロードセルをセンサーとして 4 個使用しており、ロードセルにかけられ検出された重量は、重量指示計にケーブルを通じて伝達されます。作業者は指示計に表示されるデジタル数字により、重量値を読み取ることが出来ます。この取扱説明書には、使用上の注意事項などを記載しておりますので、御使用前によくお読みいただき、安全で効率的な作業にお役立てください。

[1] 設置時の注意

はかりの性能を充分引き出すために、以下の設置条件を考慮してください。

- ・ 堅牢で振動の無い平らな床面に設置してください。設置の際は必ず各コーナー4ヶ所と地表面とが密着していることをご確認下さい。ガタつきがあると大きな誤差の原因になりますので、ライナーをかませるなどして水平と安定を確保して下さい。ゴム足による調節は 5mm 以下に止めて下さい。ゴム足を伸ばしすぎるとネジ部が曲がり、誤差や故障の原因になります。
- ・ 直射日光の当たる場所、雨のかかる場所、風や温度変化が激しい場所への設置は避けて下さい。
- ・ 静電気が発生しやすい場所への設置は避けて下さい。湿度が 45%RH 以下になるとプラスチックなどの絶縁物は摩擦などで静電気を帯びやすくなります。静電気がロードセルや表示器に流れると故障の原因になりますので充分ご注意下さい。
- ・ ケーブルを引っ張ると断線の原因になりますので絶対に引っ張らないで下さい。ケーブルを抜く時は必ずコネクタを直接持って行って下さい。
- ・ 腐食性ガス、引火性ガスが漂う場所への設置は避けて下さい。
- ・ はかりを分解しないで下さい。
- ・ 塗装保護ビニールは剥がしてご使用下さい。

[2] 計量時の注意

- ・ 電源を入れたら 15 分程ウォーミングアップ時間を取って下さい。その後、秤上に何も載っていないことを確認して表示器のゼロリセットボタンを押して下さい。
- ・ 秤量以上の荷重を載せないで下さい。
- ・ 秤量以下の荷重でも、極端な偏荷重をかけたり、瞬間的に過度な衝撃を与えないで下さい。
- ・ プラスチックなど静電気が発生しやすい物質の計量を行う場合は本体フレームグランド (F. G) に付属のアース線を接続し、クリップをグランドに落ちている金属 (塗装面不可) に取り付けて下さい。また、被計量物から直接アースを取ることも効果的です。湿度が 45%RH 以下になるとプラスチックなどの絶縁物は摩擦などで静電気を帯びやすくなります。静電気がロードセルや表示器に流れると故障の原因になりますので充分ご注意下さい。この処置は簡易的な対策で、これにより機器への静電気対策を保証するものではありません。

[3] 重量指示計について

- ・ 別に重量指示計用の取扱説明書がございますので、そちらをご参照下さい。
- ・ 設置時の注意事項については別紙「指示計設置基準書」をご参照下さい。

指示計設置基準書

株式会社 守随本店

1. 指示計本体は十分に安定した机または棚等に設置してください。
2. 下記のような場所は設置場所としては不適當です。
 - a) 雨または水滴のかかる場所・・・故障原因となります。
 - b) 直射日光下（ガラス等を通した日光下も含みます。）
・・・計量誤差発生の原因となり寿命を縮める恐れがあります。
 - c) 塵埃の多い場所・・・故障原因となります。
 - d) 湿気の多い場所・・・故障原因となり寿命が縮みます。
 - e) 急激な温度変化のある場所・・・計量誤差発生の原因となります。
 - f) 振動の多い場所・・・故障原因となり寿命が縮みます。
3. 電源：AC100V±10%、商用電源、max100VA（指示計単体）
他の機器（特に動力機械、マグネトリレー、ベル等）との併用はさけ受電設備から直接単独で配線してください。
4. 使用周囲温度：-5°C～40°C
なるべく温度変化の少ない場所で使用されると、より正確な計量ができます。
5. 使用周囲湿度：85%RH以下にて結露しない状態。
6. 外乱：
 - a) 動力機械、マグネトリレー、ベル等の雑音源が近くにある場合は、誘導を受ける恐れがありますのでなるべく距離をとってください。
 - b) 静電気の発生源が近くにある場合は、発生源に良好なアースを取り静電気の発生を断ってください。
7. 落雷の恐れがあるときは、電源コンセントを抜いてください。
また、はかりが屋外にあるときは、ロードセルケーブルも切り離してください。
8. 接地：第3種、単独アースに接続して、電力機器系のアースと共用しないでください。
アースはアース端子、筐体または電源ケーブルアース線に接続願います。
※ 重量検出部側も同様に願います。
9. ロードセルケーブルは、他の動力配線とは60cm以上の距離をとって配線してください。
延長ケーブルの長くなる場合は、必ず金属製の配管内を通してください。

※ 重量検出部側の注意事項

1. はかりは水平の状態で使用してください。
2. はかりに荷重をかける前に指示計重量のゼロを確認してください。
3. はかりにはひょう量以上の負荷をかけないでください。
4. その他使用方法については弊社担当者にお尋ねください。

☆産業用電子はかり全般製作

☆産業用電子制御システム設計製作

創業明暦四年(AD1658年) 守隨のはかり



株式会社 守 隨 本 店

本 社 〒454-0059 愛知県名古屋市中川区福川町3-1
TEL 052-361-1511代表 FAX 052-361-1613
東京営業所 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-27-6
TEL 03-5675-3621 FAX 03-5675-3620
広島出張所 〒733-0004 広島県広島市西区打越町5-20
TEL 082-962-1169 FAX 082-962-1069
工 場 〒454-0059 愛知県名古屋市中川区福川町3-1
TEL 052-361-1434 FAX 052-361-1613
URL <http://www.shuzui.jp/>
E-Mail hakariza@shuzui-scales.co.jp